



発信 No.2021-50  
 2021 年 12 月 9 日  
 学校法人 大正大学

## 地域創生のための総合情報誌『地域人』第 76 号

### 特集 日本の聖地 信仰と観光

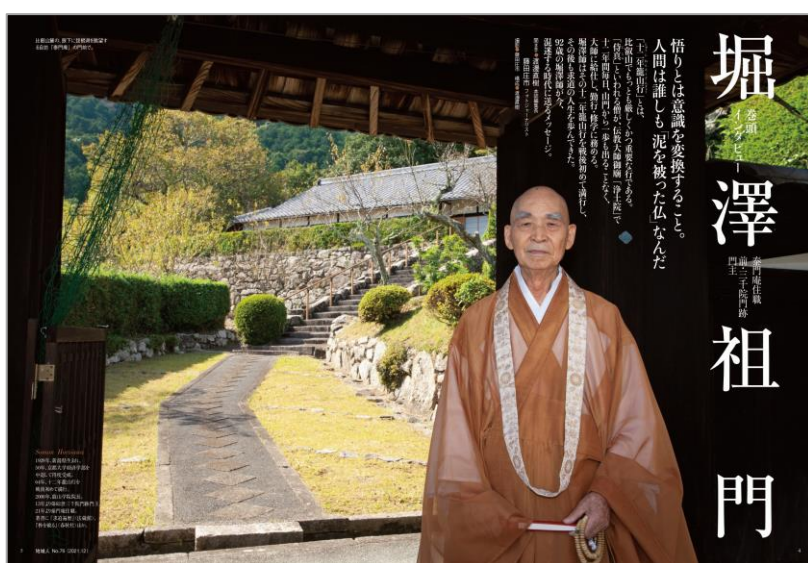
#### 祈りの場所、「聖地」と観光の在り方を考える！ 12 月 10 日発売

大正大学（学長：高橋秀裕、所在地：東京都豊島区）は、地域創生のための総合情報誌『地域人』第 76 号を 12 月 10 日に発売します。今月の特集は「日本の聖地 信仰と観光」。

古来、自然は信仰の場、「聖地」となり、今では地域にとっては大切な観光資源となっています。「行」や「儀礼」、山岳信仰やアマビエといった切り口で、比叡山延暦寺や出羽三山、富士山などの聖地とこれからの観光の在り方を考えます。巻頭インタビューは、戦後初、十二年籠山行を満行した堀澤祖門さん（泰門庵住職、前・三千院門跡門主）の混迷する時代へのメッセージも掲載しています。



『地域人』第 76 号表紙。



巻頭インタビューは、泰門庵住職、前・三千院門跡門主の堀澤祖門さん。

巻頭インタビュー 堀澤祖門 泰門庵住職、前・三千院門跡門主  
 「悟りとは意識を変換すること。人間は誰しも『泥を被った仏』なんだ」

### 特集 日本の聖地 信仰と観光

聖地 一にぎわいの深奥に在るもの

藤田庄市 フォトジャーナリスト

比叡山延暦寺 十二年籠山行、東大寺二月堂 修二会、羽黒修験 秋峰、伊勢神宮 日別朝夕大御饗祭

インタビュー 観光資源としての聖地 鈴木正崇 慶應義塾大学名誉教授

なぜアマビエの聖地は存在しないのか 一疫病と令和の御代の流行神（はやりがみ）

岡本亮輔 北海道大学大学院准教授

変容を続ける富士山信仰「富士講今昔物語」

古田尚也 大正大学社会共生学部・地域構想研究所教授



## 絵葉書に見る聖地と観光 ―菱田コレクションより―

### PART1 聖地と周辺の観光地化 ―宗吾霊堂とエリアの形成

島立理子 千葉県立中央博物館企画調整課長

### PART2 時代と共に変わりゆく屋久島の聖地

柴崎茂光 東京大学農学部林政学研究室准教授

### COLLECTION 千葉県立中央博物館所蔵の菱田コレクションなど 島立理子

#### ■特集内容



聖地の行と儀式は超自然的リアリティーを感じさせる（出羽修験 秋峰）



時代とともに変容を続けてきた富士山信仰をレポートする

#### 『地域人（chiikijin）』

2015 年9月に創刊。地域で活躍する人々の前向きで積極的な“生”の情報を新鮮なまま毎月お届けし、ビジネスや生活に役立つことはもちろん、地域創生のテキストとしても活用されています。発行：月刊（毎月 10 日発売予定）／定価：本体 1100 円（税込）／発行・発売：大正大学出版会／編集：大正大学地域構想研究所／制作：大正大学事業法人 株式会社ティー・マップ／編集・発行人：柏木正博（大正大学専務理事）／編集長：渡邊直樹（大正大学客員教授）／部数：1 万 5000 部／判型：A4 変型／平綴じ／ページ数：本文 104 ページ／大型書店、ウェブ書店で発売中。電子版も発売中。『地域人』YouTube チャンネル：[https://www.youtube.com/channel/UCKRcv\\_bLrXHjZDHabpw1Kw/videos](https://www.youtube.com/channel/UCKRcv_bLrXHjZDHabpw1Kw/videos)



#### ◆大正大学

大正大学は、設立四宗派の天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗および時宗が協働して運営する大学です。その協働の精神を支えているのが、大正 15 年（1926）の創立時に本学が掲げた、「智慧と慈悲の実践」という建学の理念です。建学の理念のもとに〈慈悲・自灯明・中道・共生〉という仏教精神に根ざした教育ビジョン「4つの人となる」を掲げて教育研究の活動を展開しています。また、令和 2 年度文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」に本学の推進する「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」が採択されました。公式 HP：<https://www.tais.ac.jp/>

令和2年度

### 文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択校

「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」



#### ■取材に関するお問い合わせ

大正大学 総合政策・広報課 志村

電話：03-5394-3025（直通）FAX：03-5394-3068 E-mail：kouhou@mail.tais.ac.jp